

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立すこやかプラザ	施設所管課	子ども青少年局 子ども福祉課
施設住所	尼崎市七松町1丁目3番1ー502号	竣工	H12.6(築満24年)
設置目的	少子・高齢化社会において、市民がお互いに支え合いながら安心して健やかに暮らせる地域社会の形成に資することを目的とする。		
主な事業内容	子育て支援コーナー（PAL）、多目的ホールの貸出、一時預かり事業（とんとん）、子育て支援や高齢者支援などに関する講座やイベントを実施している。		
指定管理者名	特定非営利活動法人 子どものみらい尼崎	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他（ ）

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

すこやかプラザ利用者数及び満足度の割合の増加を図る。

実施結果

令和6年度は選挙会場としての利用がなかったこと、また工事期間中の閉館等により利用者数の目標値には至らなかったが、イレギュラーな状況下でもイベントの実施場所を工夫する等の取組を行い、満足度は高い水準を保っていると評価できる。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性

指標①：満足度（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	79%	90%	90%	90%	
実績	-	-	-	-	-	-	90%	99%	89%		
達成度	-	-	-	-	-	-	114%	110%	99%		
評価	-	-	-	-	-	-	◎	◎	○		

指標②：利用者数（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	30853	37020	46863	58625	58000	46725	
実績	-	-	-	-	31653	45853	48039	58046	46725		
達成度	-	-	-	-	103%	124%	103%	99%	81%		
評価	-	-	-	-	○	◎	○	○	△		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

有効性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

適正な人員配置を行うとともに、スタッフミーティング・所内会議・接遇研修を行うことで利用者の満足度の向上につなげていく

実施結果及び評価

スタッフ間の定期的なミーティングやすこやかサポーターの活用等の取組を継続している他、イベントの申込方法に申込フォームを導入し、且つ端末操作に抵抗がありがちな年配者に対し世代間交流事業として現役の父親が講師を務めるスマホ講座を実施する等、限られた人員で利用者の満足度を向上させていく取組がなされていると評価できる。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設の保守点検を行うとともに、日頃から、裏紙の再利用・廃材の利用など環境へ配慮した取り組みや経費削減に取り組む

実施結果及び評価

廃材の利用を継続している他、空調改修工事完了にともなう騒音届を適切に行う等、環境に配慮している。また、これまで公共施設に対し紙による情報配信を行っていたところをメールの活用に切り替えていく等の新たな取組も実施しており、評価できる。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	52,586,000	52,586,000	0	人件費	33,324,000	32,959,851	364,149
				報償費	930,000	1,125,130	-195,130
				旅費	5,000	22,800	-17,800
				需用費	4,009,000	3,757,121	251,879
				備品購入費	149,000	57,000	92,000
				役務費	3,043,000	2,300,073	742,927
				委託料	4,193,000	3,566,498	626,502
				使用料及び賃借料	314,000	688,677	-374,677
				負担金	6,619,000	6,552,440	66,560
収入計	52,586,000	52,586,000	0	支出計	52,586,000	51,029,590	1,556,410

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者に寄り添う支援とともに地域社会とのつながりづくりを強化していく取組姿勢があり、すこやかプラザにより一層求められる本市の子育て支援活動の拠点としての機能の充実が期待できる
指定管理者自身が設定した目標	すこやかプラザの管理運営を通じて、尼崎市のすべての子どもが健やかに育つ社会の実現に寄与し、「支えあいの地域づくり」を推進する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	親子や高齢者などがつどう場の提供やホールの貸室業務を通して様々な世帯に喜びを感じてもらい、情報の提供や講座・イベントを通して、人々が安心して暮らし、人とのつながりが感じられるようにする。						
目標指標	指標	利用者数の増加(単位:人)					
	指定期間	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成状況の評価
	目標値	46,863	58,625	58,000	46,725		令和6年度は選挙会場としての利用がなかったこと、また工事期間中の閉館等により目標値には至らなかった。
	実績値	48,039	58,046	46,725			

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	要改善
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理―事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
パートナーシップ	履行状況―提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	要改善
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	課題であった空調機の改修、また指定管理者監査の指摘事項である基本協定書の変更や指定・自主事業の整理等について、随時相談・協議を重ね、よりよい関係性の構築につながった。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	指定管理者に長年にわたり実施いただいていた事業の整理や基本協定書の変更にともない発生する新たな事務等、市・指定管理者ともに協働することができた。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	利用者ニーズを把握する取組を継続しているほか、多目的ホールの夜間利用が少ないという課題に対しても、部活動が減っている中高生のための居場所提供も兼ね利用を呼び掛ける等、新たな取組を実施・検討している。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	空調機の老朽化等の施設の課題や、市・指定管理者間で取り交わす基本協定書の内容の不備及び指定・自主事業の整理の不十分な状況等の指定管理者制度に関しての課題があったが、指定管理者と協議を重ねた結果事務を遂行することにより、一定の解決につながった。	
双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）		
市・指定管理者とともに協力し、多目的ホールの間仕切り工事をはじめとした施設の老朽化に係る修繕・工事を、可能な限り利用者への影響が出ないよう進め、また令和6年度指定管理者監査において指摘を受けた全事項の措置を完了していく。利用者ニーズの把握等、運営上検討が必要な項目について、指定管理者に全て任せてしまう体制とならないよう、日々から市職員が施設に直接出向く機会を増やし、パートナーシップの構築をより進めていく。		

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市尼崎学園	施設所管課	こども青少年局 こども相談支援課
施設住所	神戸市北区道場町塩田3038番地	竣工	平成26年3月（築満11年）
設置目的	児童福祉法（昭和22年法律第164号）の規定による児童養護施設として設置		
主な事業内容	児童福祉法に基づく児童養護施設として、乳児を除く、保護者のいない児童や虐待を受けている児童、その他環境上養護を要する児童を養護するとともに児童の自立を支援する。		
指定管理者名	社会福祉法人 尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☐ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他（ ）

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）																																																																							
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）																																																																							
	事業計画書に示された事業の実施を適切に行う（児童の安全確保、児童への心のケアの継続実施、相談体制の構築、児童からの意見提案の対応、地域住民との連携、実習生の受入等）																																																																							
	実施結果																																																																							
	児童の安全確保に十分留意しており、大きな事故も発生していない。児童へのアンケートや、定期的なユニット会議の実施により、児童の意見提案を取り入れた施設運営を行えている。実習生の受け入れを積極的に行うほか、地域行事にも積極的に参加しながら、地域住民等と良好な関係性を構築している。																																																																							
	（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況																																																																							
	指標①：入所児童の施設に対する満足度80%以上（単位：％）																																																																							
	<table><tr><td>年度</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>目標</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>80%</td><td>80%</td><td>80%</td><td>80%</td><td>80%</td><td>80%</td><td>80%</td></tr><tr><td>実績</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>82%</td><td>79%</td><td>76%</td><td>82%</td><td>78%</td><td></td><td></td></tr><tr><td>達成度</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td><td>95%</td><td>100%</td><td>98%</td><td></td><td></td></tr><tr><td>評価</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>												年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	目標	-	-	-	-	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	実績	-	-	-	-	82%	79%	76%	82%	78%			達成度	-	-	-	-			95%	100%	98%			評価	-	-	-	-			○	○	○		
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																												
	目標	-	-	-	-	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%																																																												
実績	-	-	-	-	82%	79%	76%	82%	78%																																																															
達成度	-	-	-	-			95%	100%	98%																																																															
評価	-	-	-	-			○	○	○																																																															
指標②：入所児童に対する心のケアが適切に行われ自立に向けた支援を行ったか。（対処/事案100%）																																																																								
<table><tr><td>年度</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>目標</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr><tr><td>実績</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>99%</td><td>99%</td><td>99%</td><td></td><td></td></tr><tr><td>達成度</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>99%</td><td>99%</td><td>99%</td><td></td><td></td></tr><tr><td>評価</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>												年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	目標	-	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%	実績	-	-	-	-	-	-	99%	99%	99%			達成度	-	-	-	-	-	-	99%	99%	99%			評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○			
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																													
目標	-	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%																																																													
実績	-	-	-	-	-	-	99%	99%	99%																																																															
達成度	-	-	-	-	-	-	99%	99%	99%																																																															
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○																																																															
◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）																																																																								
効率性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか																																																																							
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）																																																																							
	適正な収支バランスで施設を管理運営する。収支報告を適正に行う。法定点検等、施設維持管理を行う上での最低基準の遵守。必要となる専門職種の確保と適正な職員配置を行う。定期的な内部研修を実施する。																																																																							
	実施結果及び評価																																																																							
	収支について特に問題なく運営ができています。ユニットごとに必要な職員数を確保し配置をしている他、年間を通じて職員研修を実施しており、職員の資質向上に努めている。法定点検も確実に実施しており問題はない。こども達の生活の質を向上させることを念頭に置き、指定管理料の範囲内で適切に運営を実施している。																																																																							
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）																																																																							
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか																																																																							
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）																																																																							
	施設の保守・保全・点検を適正に実施する。保守点検の業務委託は適正水準で実施。																																																																							
	実施結果及び評価																																																																							
施設の保守点検について、業務委託を行い適切に実施している。施設の保全については、公共施設保全マニュアルを参考に取り組んでいる。また、使用していない部屋の消灯、エアコンの設定温度管理、裏紙利用等については継続的に実施しており、環境に配慮した取り組みが行えている。																																																																								
◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している																																																																								
（参考）経費の状況（単位：円）																																																																								
<table><tr><th colspan="4">収入</th><th colspan="4">支出</th></tr><tr><th>項目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>差引</th><th>項目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>差引</th></tr><tr><td>管理運営事業費</td><td>220,104,000</td><td>220,104,000</td><td>0</td><td>人件費</td><td>161,263,000</td><td>156,531,948</td><td>4,731,052</td></tr><tr><td>事務局間接費</td><td>8,517,000</td><td>8,517,000</td><td>0</td><td>維持管理事業費</td><td>14,471,000</td><td>13,395,688</td><td>1,075,312</td></tr><tr><td>補助金</td><td>973,000</td><td>972,387</td><td>-613</td><td>運営事業費</td><td>38,757,000</td><td>40,879,475</td><td>-2,122,475</td></tr><tr><td>その他</td><td>0</td><td>66,000</td><td>66,000</td><td>事務局間接費</td><td>8,517,000</td><td>8,517,000</td><td>0</td></tr><tr><td>収入計</td><td>229,594,000</td><td>229,659,387</td><td>65,387</td><td>支出計</td><td>223,008,000</td><td>219,324,111</td><td>3,683,889</td></tr></table>												収入				支出				項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引	管理運営事業費	220,104,000	220,104,000	0	人件費	161,263,000	156,531,948	4,731,052	事務局間接費	8,517,000	8,517,000	0	維持管理事業費	14,471,000	13,395,688	1,075,312	補助金	973,000	972,387	-613	運営事業費	38,757,000	40,879,475	-2,122,475	その他	0	66,000	66,000	事務局間接費	8,517,000	8,517,000	0	収入計	229,594,000	229,659,387	65,387	支出計	223,008,000	219,324,111	3,683,889					
収入				支出																																																																				
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引																																																																	
管理運営事業費	220,104,000	220,104,000	0	人件費	161,263,000	156,531,948	4,731,052																																																																	
事務局間接費	8,517,000	8,517,000	0	維持管理事業費	14,471,000	13,395,688	1,075,312																																																																	
補助金	973,000	972,387	-613	運営事業費	38,757,000	40,879,475	-2,122,475																																																																	
その他	0	66,000	66,000	事務局間接費	8,517,000	8,517,000	0																																																																	
収入計	229,594,000	229,659,387	65,387	支出計	223,008,000	219,324,111	3,683,889																																																																	

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	保護者のいない児童や虐待を受けている児童、その他環境上養護を必要とする児童の養護や、その児童の自立への支援を達成するための十分な能力を有していること。
指定管理者自身が設定した目標	入所児童が朗らかな家庭的雰囲気の中で、心身ともに健やかに育ち、社会の一員としての責任を自主的に果たすことができるように導く。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	児童福祉法に基づく児童養護施設として、措置された児童を自立させて、社会生活に柔軟に対応できるよう環境づくりを図る。						
目標指標	指標	入所児童の施設に対する満足度80%以上					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	80%	80%	80%	80%	80%	R6年度は目標に対してやや未達、アンケートの実施結果を注視し、今後の改善に活かす。
	実績値	76%	82%	78%			

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	要改善
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	
パートナーシップ	関係性の構築	
	毎月提出される月次報告書にて施設運営、点検の実施状況について確認している他、定期的に施設を訪問し、現地視察及び意見交換を実施した。特に今年度は敷地内の危険樹木の剪定・伐採に係る作業を進めるにあたり、作業箇所の協議等、適宜市と指定管理者が相談しながら一体的に取り組むことができた。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	児童一人ひとりの意見を大切にするために継続しているユニットこども会議での意見聴取の内容を、市と指定管理者で共有している。施設内で発生した事案についても、指定管理者が市に報告をし、対応を協議している。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	今年度もユニットこども会議を3回開催し、その中で、こども達が思っていることを感じ、実現可能なことは要望に応じてきた。こども達にとって日常生活の安心安全を、ある程度提供できたと思っている。課題として、高齢児、特に大学生、就労生等が増え、入所児童が高齢児化しており、その対応が求められる。施設定員の改定、改修工事など市との意見の相違はあったが、次年度に向けて、施設の今後の在り方や定員、設備の改修等を指定管理者と協議したい。児童相談所や一時保護所への円滑な支援ができるよう、引き続き協議を進めたい。また、ご助言を受けた現金管理等については対策を講じて事故が起きないよう意識改革も含めて徹底していきたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	こども達の意見聴取・生活の質向上を念頭に置いた指定管理運営を実施できている。引き続き、こども達が安心・安全に生活し、自立に向けた力を蓄えることができるよう支援をお願いしたい。施設定員、改修工事等については継続して協議を行いながら、長期的な視点で施設運営を考えていくことが必要であるため、今後も市と指定管理者で協議を重ねていきたい。また入所児童の小遣い管理が不十分であったほか、施設内での不適切な対応や本市への報告等の遅れが見受けられたため、指定管理者に改善を求めた。意識改革を含めた十分な是正対策の継続について、引き続き確認していきたい。他方、指定管理者においては、近年の急激な人件費の高騰等により経営が悪化しており、改善に向けた取組が必要である。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	指定管理者がこどもに対して一方的に規律を押し付けるのではなく、こども達の意見を取り入れつつ理解を促す手法を取り入れ、こどもを中心に置いた施設運営を継続して心掛けている他、職員の資質向上にも努めていることから、安心して指定管理を任せることができている。引き続き市と指定管理者が密にコミュニケーションを取り、良好な関係性を醸成しながら取り組んでいきたい。令和8年度に開設する尼崎市児童相談所と尼崎学園のあり方については、長期的な視点を持つて検討することも重要である。この点を踏まえ、必要な協議を適宜実施していきたい。また、不十分な金銭管理や施設内での不適切な対応、本市への報告等については、再発防止を徹底するための是正措置が継続されているかを本市が定期的に確認し、適切な施設維持管理に取り組んでいく。なお、指定管理者自身の経営状況については、法人の令和7年度収支分析等を行う中で、指定管理委託料の考え方の整理等を含めて経営改善に取り組む。	

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立美方高原自然の家	施設所管課	教育委員会事務局 学校教育課
施設住所	兵庫県美方郡香美町小代区新屋1432-35	竣工	H8.4(築満28年)
設置目的	県立自然の家での野外活動及び集団生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民に自然と親しむレクリエーション活動の場を提供することにより、市民の自然への理解を深め、余暇の活用を図る。		
主な事業内容	自然学校に関する事業、野外活動の場の提供・指導、野外活動指導者及び青少年団体指導者の研修		
指定管理者名	公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

指定事業及び自主事業の実施にあたっては、協定書の規定を遵守して指定事業を履行するとともに、利用者のニーズを把握し、市民等の参画を促し自主事業を実施していく。

實施結果

市内の小学校の自然学校活動を受け入れ、児童が集団生活の中で人や自然に触れ合う機会を提供するとともに、施設の利用者に野外で自然体験の場を提供するプログラムを実施した。(指標①)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	85%	85%	85%	85%	85%
実績	-	-	-	-	83.7%	79.5%	84.6%	79.0%	82.8%		
達成度	-	-	-	-	-	-	99.5%	92.9%	97.4%		
評価	-	-	-	-	-	-	○	△	○		

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	85%	85%	85%	85%	85%
実績	-	-	-	-	98.2%	85.8%	88.4%	89.7%	86.0%		
達成度	-	-	-	-	-	-	104%	105.5%	101.2%		
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設の保守管理に努めるとともに、利用率向上への取組及び利用者に対する接遇サービスの維持・向上に努める。

実施結果及び評価

野外活動におけるDX化を推進し、学校や青少年団体の指導者の人数不足や指導経験不足の課題解決をアプリで支援している。この案件は、国内および国外においても野外教育のフロントランナーとなっている。(野外教育学会大会等)また、大学における研究協力を積極的に行うことで、実践事例や調査研究におけるエビデンスの蓄積、それらの情報発信や提供を行っている。

O

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

経費を効率的に削減するための取組を行う。

実施結果及び評価

・設備管理職員を中心に、燃料・電気・上水道などの使用料や経費を記録し、利用者のスケジュールや利用場所に限定した点灯やセンサーライトの採用と空調機器の限定稼働、風呂の利用調整でボイラー稼働時間の短縮などの対応により省エネを促進している。

・エコドライブを推進している。エレベーターの利用を控えている。ペーパーレス化を推進している。ミスコピー等の回収場所を指定し、裏紙利用を推進している。

O

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況 (単位: 円)

收入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	140,897,000	140,897,000	0	人件費	70,087,000	63,810,434	6,276,566
				物件費	70,810,000	77,079,194	-6,269,194
							0
							0
収入計	140,897,000	140,897,000	0	支出計	140,897,000	140,889,628	7,372

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	・基本方針や事業内容の充実等、施設の効用を最低限に発揮できる提案となっているか。 ・施設運営面で施設管理体制や人的能力等、施設の管理を安定して行う能力を有しているか。
指定管理者自身が設定した目標	利用者アンケート回答における「大変良い」「良い」の回答率を向上させる。 1「青少年の気づき、学びを促進します。」達成目標値85% 「尼崎市内の小学校における自然学校支援の運営」達成目標値80% 2「自然環境への興味関心を育みます。」達成目標値85% 3「地域を生かした人と文化の交流の場を創造します。」達成目標値80% 4「安心安全で多様性を尊重した施設づくり」達成目標値85% 5「自然を生かした未来志向の教育を推進します。」達成目標値85%

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		施設の有効性や効率性を高め、市民の青少年育成と余暇活用を促進する。					
目標指標	指標	利用者アンケートにおける運営について「4」以上を回答した割合(単位:%)					
	指定期間	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成状況の評価 積極的に取組を展開しているが、目標達成には至らなかった。
	目標値	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	
	実績値	84.50	85.10	81.40			

適 正 性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理・事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況・提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおり業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

関係性の構築

月1回ZOOMミーティングを行い、毎月の自然学校の状況、自主事業の状況など施設に関することについての情報共有を図っている。また、トラブル等発生時に、即時状況等を報告し、1次対処、2次対処における素案の共有を図っている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

- ・利用者アンケート等から施設運営などの課題を抽出し、改善策の提案等をそれぞれの視点で考え、共有しながら進めていくことができていていると感じる。
- ・市教委主催の自然学校特別委員会に出席し、尼崎市自然学校推進事業における成果と課題やニーズを共有し、継続的改善を行っている。
- ・学校教育課と林業体験における倒木事案を共有した際に、従来の独自で行ってきた安全管理方法から、林業の専門化組織である地元の森林組合との連携について、アドバイスをいただき、より安全な管理運営に改善できた。この事案を元に林業体験エリアだけでなく、敷地内やその他の活動エリアについても、北但西部森林組合に委託し、点検整備を継続して行う。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

【成果】・自然学校支援において、職員の対応や活動の支援については、アンケート調査で94.9%の「良い」、「大変良い」を得ている。ISO9001自然学校支援を運用していることで、支援品質の管理や継続的改善が進んでいると考える。

【課題】・自然学校利用以外の利用者へよりよい支援や活動の機会を提供し、運営の5本柱における評価を向上させるため、地元住民を含む支援者をより広くとめ、提供方法の改善を行う必要がある。

- ・食事提供については65～75%台の数値であり、児童への食事アンケート調査も実施し、おいしかったと答えた児童は67%であった。今後も調査を継続し結果を食堂業者と協議しながら改善につなげる。また、同類施設への視察を行い改善のヒントも模索している。
- ・自然の家の運営目的や目標の達成を念頭に管理運営を行っているが、最終利用者人数は30,956人であり、目標利用人数37,000人に至らない。今後は、より一層の営業活動や家族、個人向け広報であるSNSでの情報発信等を行い、利用者獲得を目指す。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

【成果】自然学校活動において、大きな事故等が発生することはなく、子どもたちに学びの場を安全に提供することができたことは、大変良し。指定管理者と現地の情報を共有しながら、課題・問題点等についての対策及び各学校からの要望等について確認を行いながら、改善を進めることができた。

【課題】一般利用者数の増加に向けた取組を検討していく必要があると考える。また、利用満足度において、他の項目よりも満足度が低い食事提供については、食材価格の上昇の事情もあり、満足度を上げることは容易でないが、質面の改善策を考えていく必要がある。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

今後も一定の利用者数が見込めるものの、当該利用者の再利用率を高めるための施設サービスの充実、さらには、未利用者に対する情報発信が今後の課題となるため、他市の事例等も参考としながら、市と指定管理者が一緒に取り組んでいくことが必要であると考えます。施設広報の在り方についても、デジタルマーケティング理論に基づいた広報業務の在り方今年度末までに職員研修にて理論とスキルを学び、次年度以降、ニューメディアによる施設の魅力発信による利用者獲得につなげる。

また、尼崎市民がよくなり始めるよう、尼崎市内での開催される大型イベント等において、PR活動や体験会をこれからも積極的に展開する。

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立城内青少年体育道場	施設所管課	こども青少年局 こども青少年課			
施設住所	尼崎市南城内7番地2号	竣工	H8.12(築満28年)			
設置目的	体育を通じて心身ともに健全にして社会性に富んだ青少年の育成を図る。					
主な事業内容	空手、剣道その他一般体育及びレクリエーション活動のための場の提供					
指定管理者名	尼崎市剣道連盟	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	☐ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

外観、器具、運営等に関する利用者アンケートで良い以上の評価を8割以上取得し、登録団体を12団体に増加するように努める。

実施結果

道場の活用を通じて、青少年の健全育成に寄与し、利用者の満足度は高く推移している。令和6年度からアンケート評価の目標を8割以上に変更したため指標①の目標達成には至らず。また、登録団体数は増えず、指標②の目標達成に至らなかった。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性

指標①：利用者アンケートにて良い以上の評価の割合（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	60	60	80	80	80
実績	-	-	-	-	-	-	76	68	68		
達成度	-	-	-	-	-	-	127%	113%	85%		
評価	-	-	-	-	-	-	◎	◎	△		

指標②：青少年体育道場に登録している団体数（単位：団体）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	12	12	12	12	12
実績	-	-	-	-	10	10	9	10	10		
達成度	-	-	-	-	-	-	75%	83%	83%		
評価	-	-	-	-	-	-	△	△	△		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者自身による管理を行うことで管理経費の縮減等が見込め、青少年の体育実技の指導においても幅広い知識や経験、ノウハウが欠かせないことから「指定管理者制度について(指針)」に基づき非公募で指定管理者を選定している。
指定管理者自身が設定した目標	青少年体育道場の登録団体を12団体に増加するように努める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年が、柔道、剣道、その他一般体育活動等で快適に利用できる環境を提供する。						
目標指標	指標	城内青少年体育道場の登録団体					
	指定期間	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成状況の評価
	目標値	12	12	12	12	12	コロナ禍で活動団体が減少した後、微増したが、以降増加せず目標達成には至らず。
	実績値	9	10	10			

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適性
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適性
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適性
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適性
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適性
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適性
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適性
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適性
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適性
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適性
	選定時の提案内容が実施されているか	適性
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適性
	関係性の構築	
	適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
パートナーシップ	施設の運営については、指定管理者の協力を得ながら行っているところであるが、簡易な修繕以外は所管課で対応を行うこととしている。今後も指定管理者と意見交換を行い施設管理業務を行っていく。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	利用者アンケートにおいて施設や設備の修繕要望があるほか、施設の老朽化も進んでいる。大規模な修繕が必要なものについては、市と情報共有しながら対応していきたい。 スポーツ活動を行う施設であることから、熱中症予防等、利用者の安全のためエアコンの設置を市に求める。 また、もしもの時のためにAEDの設置を求める。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	R6年度に実施された指定管理者監査の指摘事項を踏まえ、指定管理業務が適正に遂行されるよう指定管理者とともに十分に協議しながらより良い施設の維持管理に努める。 また、利用者から強い要望のあったエアコンの設置について、活動中の熱中症予防等利用者の安全確保のため、令和7年度中に設置工事を行う。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	・令和6年度の指定管理監査の指摘事項を踏まえ、今後の施設運営のあり方等について、指定管理事業者と十分に協議を行いながら進めていく。 ・施設が老朽化している現状を踏まえ、今後の施設の保全や大規模な修繕等について、関係部局と協議し対応していく	

令和6年度の指定管理監査の指摘事項を踏まえ、今後の施設運営のあり方等について、指定管理事業者と十分に協議を行いながら進めていく。

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立園田青少年体育道場	施設所管課	こども青少年局 こども青少年課			
施設住所	尼崎市東園田町8丁目111番地の8	竣工	S56.3(築満43年)			
設置目的	体育を通じて心身ともに健全にして社会性に富んだ青少年の育成を図る。					
主な事業内容	空手、剣道その他一般体育及びレクリエーション活動のための場の提供					
指定管理者名	尼崎市スポーツ少年団	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)					
指定管理者に主として期待される事項	☐ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()					

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

効率性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

外観、器具、運営等に関する利用者アンケートで良い以上の評価を7割以上取得し、登録団体を23団体に増加するように努める。

実施結果

道場の活用を通じて、青少年の健全育成に寄与している。施設の老朽化等が進み、利用者の満足度は横ばいだが、登録団体数は増えており、指標②の目標達成に向けて進捗している。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにて良い以上の評価の割合（単位：％）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	60	60	70	70	70
実績	-	-	-	-	-	-	59	54	60		
達成度	-	-	-	-	-	-	98%	90%	86%		
評価	-	-	-	-	-	-	△	△	△		

指標②：青少年体育道場に登録している団体数（単位：団体）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	23	23	23	23	23
実績	-	-	-	-	22	21	19	20	22		
達成度	-	-	-	-	-	-	83%	87%	96%		
評価	-	-	-	-	-	-	△	△	△		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

道場における活動を通じ、青少年の健全育成を推進するとともに常に道場の整理整頓を心がける等、建物の環境整備に努め、利用者が快適に利用できる環境を提供する。

実施結果及び評価

道場での様々な体育活動を通じて、青少年の健全育成に寄与している。また、利用者とともに施設の整理整頓や日常的な清掃等を実施している。また、施設の保全に万全の注意を払って管理を行うことで良好な利用環境が維持されている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、環境に適した物品（グリーン購入）の購入を検討するとともに不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

グリーン購入の物品を購入を行うとともに不要な電気の消灯に努めている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	500,000	500,000	0	人件費		0	0
			0	事業費		0	0
			0	施設維持管理運営費	500,000	368,979	131,021
			0	その他		0	0
収入計	500,000	500,000	0	支出計	500,000	368,979	131,021

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者自身による管理を行うことで管理経費の縮減等が見込め、青少年の体育実技の指導においても幅広い知識や経験、ノウハウが欠かせないことから「指定管理者制度について(指針)」に基づき非公募で指定管理者を選定している。
指定管理者自身が設定した目標	青少年体育道場の登録団体を23団体に増加するように努める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

目標指標	施設のありたい姿	青少年が、柔道、剣道、その他一般体育及びレクリエーション活動を通じて、快適に利用できる環境を提供する。					
	指標	園田青少年体育道場の登録団体					
	指定期間	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成状況の評価
	目標値	23	23	23	23	23	コロナ禍で活動団体が減少した後、徐々に微増している。
	実績値	19	20	22			

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか		適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか		適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか		適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか		適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか		適正
	施設の経営状況		
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか		適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か		適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか		
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか		適正
適正性	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか		適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか		適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか		
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか		要改善
	選定時の提案内容が実施されているか		適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか		適正
	関係性の構築		
	適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。		
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）		
	施設の運営については、指定管理者の協力を得ながら行っているところであるが、簡易な修繕以外は所管課で対応を行うこととしている。今後も指定管理者と意見交換を行い施設管理業務を行っていく。		
パートナーシップ	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）		
	利用予定等を調整し、多くの団体に活動の場を提供しているが、登録団体数は目標に至っていない。施設については、それぞれの利用者が利用後等に清掃を行っており、良好な状態で施設を保っている。また、利用者から強い要望のあったエアコンの設置について、活動中の熱中症予防等利用者の安全確保のため、令和7年度中に設置工事を行う。		
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）		
	R6年度に実施された指定管理者監査の指摘事項を踏まえ、指定管理業務が適正に遂行されるよう指定管理者とともに十分に協議しながらより良い施設の維持管理に努める。		
	また、利用者から強い要望のあったエアコンの設置について、活動中の熱中症予防等利用者の安全確保のため、令和7年度中に設置工事を行う。		
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）		
	令和6年度の指定管理監査の指摘事項を踏まえ、今後の施設運営のあり方等について、指定管理事業者と十分に協議を行いながら進めていく。		

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立ユース交流センター	施設所管課	こども青少年局 こども青少年課				
施設住所	尼崎市若王寺2丁目18番4号	竣工	あまぼーと:昭和55年(築満44年) アマブラリ:昭和52年(築満47年)				
設置目的	青少年の健全な育成及び福祉の増進						
主な事業内容	ユースワークの視点に立った青少年の居場所づくり 等						
指定管理者名	尼崎ユースコンソーシアム	指定期間	自	R6.4.1		至	R11.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

指定事業・自主事業の実施にあたっては協定書その他の規定を遵守し、確実に履行するとともに、利用者のニーズを把握し、ユースワークの視点に立った居場所づくりなどの事業実施や新たな取組に生かす。

実施結果

指定事業・自主事業ともに確実に履行しており、特に指定事業においては、多くの事業が仕様書に定める最低実施回数を大きく上回る実績となっている。また、アンケートを実施することで施設運営や事業等に関する利用者ニーズの把握に努めるとともに、ユースワーク推進事業のユースワーク研修やサテライト事業について、昨年度の実績や実態を踏まえ、改良を図っている。（指標①、②）

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにおける居心地の良さについて、「やや満足」以上で回答した利用者の割合（単位：％）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
目標	-	89%	89%	90%	90%	90%	91%	94%	94%	94%	94%
実績	-	92%	89%	90%	85%	91%	93%				
達成度	-	103%	100%	100%	94%	101%	102%				
評価	-	○	○	○	△	○	○				

指標②：利用者アンケートにおけるイベント内容について、「やや満足」以上で回答した利用者の割合（単位：％）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
目標	-	76%	77%	77%	78%	78%	75%	85%	85%	85%	85%
実績	-	58%	68%	66%	68%	71%	82%				
達成度	-	76%	88%	86%	87%	91%	109%				
評価	-	△	△	△	△	△	○				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設・設備の必要な修繕について適正に実施するとともに、利用率の向上、利用者に対する接遇やサービスの維持・向上を目指す。

実施結果及び評価

法令に従い、施設の保守・保全・点検を適正に実施するとともに、老朽化した備品の入れ替えなども行っている。また、利用者に対する接遇・サービス維持向上に係る研修の実施、利用者からの意見をもとにしたイベントの企画や模様替えの実施、備品等の充実を図っている。貸室の利用率については、昨年度と比較し約6%増加している。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

事務事業から発生する二酸化炭素削減に向けて、職員等不在箇所の電気の消灯やペーパーレス化の推進に取り組むとともに資源の分別、リサイクルに取り組む。

実施結果及び評価

使っていない部屋の電気は消灯するなど不要な電気の消灯に取り組むとともに、WEB会議による資料のペーパーレス化など省エネ行動を心掛けている。また、再利用可能な裏紙を利用者にも提供し活用している。びん・缶・ペットボトルなど、資源の分別、リサイクルにも取り組んでいる。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	49,597,000	49,597,000	0	人件費	38,739,000	38,173,816	565,184
				事業費	3,436,000	3,469,559	-33,559
				施設維持管理運営費	170,000	398,400	-228,400
				その他	7,252,000	7,091,837	160,163
収入計		49,597,000	0	支出計	49,597,000	49,133,612	463,388

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	①青少年が集い、癒される空間になり得る環境づくり、②ユースワークの推進、③青少年のニーズに合ったイベント実施、④ユース交流センター事業を全市展開するための取組、⑤施設管理能力
指定管理者自身が設定した目標	ユースワークの視点を取り入れた青少年の居場所づくりに取り組むとともに、地域の公共施設などの社会資源を活用した事業展開を図る。また青少年と地域をつなげる重要な拠点となる。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		ユースワークの視点に立った市内の青少年の居場所づくり事業の拡充に取り組み、様々な交流活動を通じて青少年の成長を支援する拠点施設					
目標指標	指標	ユース交流センターの月平均利用者数(単位:人)					
	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況の評価
	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	R5年度に目標値(6,300人)を超えたことから、R6年度から新たな目標値を設定している。
	実績値	6,837	—	—	—	—	

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理・事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	市と指定管理者双方が報告・連絡・相談を密に行うよう心掛け、日常的に報告・連絡・相談を行っているほか、今年度から毎月定例会議を対面で開催し、状況確認を行っている。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	定例会議を行うことで、お互いの状況をこまめに把握することができ、スムーズな連携が行えている。またこども青少年課だけでなく、市の様々な部署から事業やイベント等への協力の依頼を受け、ユースワークの視点を活かした協力・連携を行っている。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	今年度より指定管理2期目に入り、事業を開始して5年が経過している。その中で、尼崎市との連携については非常に進んできており、こども青少年課だけではなく、様々な部署から子ども若者に関する取り組みについて依頼を受けるなども進んできている。また、ユースカウンスル事業では、こども青少年課が中心となり、他部局との連携を促進していただいている。一方で、子どもや若者に関係する団体との連携や協働事業については、比較的少なくなっているため、今後は様々な団体とも連携し、子どもや若者の環境をサポートできるように推進していきたいと考えている。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	他都市からの視察が増えるなど、全国的にも認知度が高まり、注目を浴びている。しかし一方で、ユース交流センターの立地的に、その利用者は周辺住民が中心となっているため、ユース交流センターの取組みが全市展開を図り、各地域においてユースワークが展開されていく必要がある。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	全市的に若者を支援し気軽に相談ができる機会や場を増やすため、引き続きユースワーカーの養成や人材育成に取り組むとともに、各地域においてもユースワークが展開されるようユースワーカーの養成に取り組んでいく。	